

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都御岳インフォメーションセンター

指 定 管 理 者：一般社団法人青梅市観光協会

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	B
事 業 効 果	B
評 定	B

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨どい清掃や外壁洗浄を積極的に実施し、施設の維持管理は概ね適切に実施されている。 ・普通救命講習会をスタッフ全員が受講しAEDの操作方法等を身に着けるなど、利用者の安全性確保に向けた取組が実施されている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間の延長、観察会の開催、危険生物の周知、キャッシュレス決済の推進などサービスの提供は良好と評価できる。特にキャッシュレス決済は、時間帯によって利用者が集中する施設なので有効と思われる。 ・アンケートの配布を工夫し、回収率を向上させた点は評価できる。一方で、アンケートの内容や物販の売り上げ傾向について定量的に分析し、サービス向上に具体的に活かす仕組みを構築してほしい。また、収益性や来訪者サービスの効率化も考慮されたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の評価で指摘された事項の改善に意識して取り組んでほしい。 ・施設の経年劣化が進んでいる。外観の印象も重要なので、指定管理者として対応可能な部分に関しては日頃からより一層のメンテナンスに取り組んでほしい。 ・周辺にコンビニなどもないことを考えると、せめてピークシーズンだけでも営業時間の延長を検討してはどうか。 ・外部人材等を活用するなど、地域人材の育成、スキルアップの仕組みづくりなどにも取り組んで欲しい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都立小峰公園

指 定 管 理 者：公益財団法人東京都公園協会

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	A
事 業 効 果	S
評 定	A

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・里山見本園としての施設の維持管理をこまめに行い、来園者に里山の魅力を安全かつ適切に伝えることができた。 ・他エリアのボランティアとの連携を深めるなど「小峰型ボランティア」の活動を充実することで、園内の保全や調査の質の向上に努めている点も評価できる。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と連携して行った「秋彩る小峰の土蔵めぐり」は地域の生活文化を伝えるユニークな取組であり、地域資源の発掘や新たな魅力発信を行った。このような新規のプログラム開発が多く、公園の位置付けを踏まえた優れた取組となっており、高く評価できる。 ・他エリアのボランティアとの連携を深めるなど「小峰型ボランティア」の活動を充実することで、園内の保全や調査の質の向上に努めている点も評価できる。（再掲） ・地域の魅力を伝える動画配信を年間50本以上発信し、18,000回の再生を達成した。 ・警察署に働きかけて窓口登山届を呼びかける掲示板を設置し、提出用ポストを設置した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な調査活動に裏打ちされた園内の維持管理と、地域や多様な団体と連携した活動を両輪として、毎年の重点目標を明示し、組織的に里山技術の継承や地域の魅力向上に貢献せんとする姿勢は他の自然公園の範となるものである。「地域の里山見本園」の付加価値を向上する取組を引き続き進めていただきたい。 ・稲わらの販売自体は評価できる。これを一歩進めて、手作りの箒（高級感のあるものや机上で使用する小型のもの等）の制作又は販売に結び付けてはいかがか。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都小笠原ビクターセンター

指 定 管 理 者：公益財団法人東京都公園協会

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	A
事 業 効 果	A
評 定	A

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理は適切に実施されている。災害時の通信、安否確認、参集、避難誘導などの訓練を行い、緊急時の対応に備えている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 年間展示についても「小笠原の棘皮動物展」「ジョン万次郎展」「知って楽しいザトウクジラ展」といった興味深いテーマを採り上げている。 SNSでの情報発信の工夫や、島内外関係各所と連携して多角的な広報活動に努めた。 プロフェッショナルなガイドとの役割分担を図り、地元向けの夜の開館など優れた取組を行っている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、入島者数が増加するなど、コロナ前の利用水準に戻っていくと予想されるため、世界自然遺産の紹介、地域への普及啓発だけでなく、ネイチャーポジティブを実践する最前線として役割を果たしてもらいたい。 また、インバウンド需要の増加を見越して、より一層多言語による小笠原の魅力発信にも努めていただきたい。 島内の連携により、小笠原の自然・文化を理解する体験プログラムを開催している。島民の利用を増やすことは、利用客総数の底上げや季節変動の縮小、地域との連携促進のためにも重要となるものであるため、引き続き工夫しながら進めてほしい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都御岳ビジターセンター

指 定 管 理 者：株式会社自然教育研究センター

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	B
事 業 効 果	A
評 定	A

【評価の基準】

- S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B：管理運営が良好であった施設
C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理を概ね適切に実施し、東京都レンジャー、地元消防団や警察と連携して、登山道の情報などを共有し、利用者の安全確保に努めている。 東京都レンジャーと連携し、上高岩山のイワウチワを保全するための取組を行った。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド向け情報提供の強化、出張ビジターセンターによる普及啓発、都レンジャーとの協働による踏圧被害調査など、優れた取組があったと評価できる。 宿泊イベントのハードルが高い利用者向けに日帰り型のプログラムを開催するなど、利用者のニーズを踏まえたプログラム展開を行っている。 自己プランニングシートを開発し、運用するなど人材育成、事業効率化のための工夫が見られた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 山上住民との連携は、有事に協力を得やすくなるなど、リスクマネジメントの面からも重要である。引き続き進めてほしい。 満足度調査の回収数は増加したが、入館者当たりの回収率は約0.8%と低率にとどまっている。回収率を上げる工夫をしてほしい。 アンケート結果をもとに、今後、有料の「高付加価値ツアー」や「3世代家族向けの体験」などの企画に取り組まれることも期待する。 苔玉の作成等は評価できる。「苔ワールド」として更に深めるとともに、広く広報活動を行うことによりメジャーな観光へ導かれることが望まれる。 御岳の宿坊を中心とする文化など、来訪者を惹きつける地域の個性があると思われ、このあたりは常にアピールポイントとしてもよいのではないかと。宿坊への宿泊はインバウンド向けに潜在的ニーズがあるのではないかと。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都奥多摩ビジターセンター

指 定 管 理 者：株式会社自然教育研究センター

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	A
事 業 効 果	A
評 定	A

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理は適切に実施されている。 ・施設の補修修繕やマダニへの注意喚起に積極的に取り組み、来園者の快適かつ安全な利用のための取組がなされている。 ・合同巡視により事故現場の情報を収集することで、より具体的な注意喚起として案内業務に反映している。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもパークレンジャー（環境省や自治体と連携し、隣接する山梨県や埼玉県においてもイベントを実施）、団体を対象とする研修の実施、他施設との連携によるむかし道のハイキング、カヌー会社との協働による野鳥観察会の開催など、優れた取組が展開されていると評価できる。 ・アンケートの入館理由を分析し、屋外エントランスに館内展示をしたり、当日参加できるイベントを告知する体制をとること等、アンケートを具体的に施設入館やサービス向上につなげる仕組みができています。 ・HPやSNSを積極的に更新して安全に関する内容を迅速に発信し、登山計画に反映してもらうよう努めた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収数は増加したものの、回収率は来訪者の1.3%にとどまっている。回収率の向上に向けた工夫に引き続き努めてほしい。 ・海外では米国のNational Park ServiceがJunior Rangerの取り組みを展開し、認知度も高いが、日本ではこどもパークレンジャーの認知度が低く、試行錯誤を通して普及啓発を図って欲しい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都高尾ビジターセンター

指 定 管 理 者：株式会社自然教育研究センター

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	A
事 業 効 果	A
評 定	A

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理は適切に実施されている。 毎日の巡視など園地管理に積極的であり、管理状況は良好と認める。また、多数の登山者が訪れる山岳として、迷子対応や危険生物の周知など効果的に安全確保のための取組を展開していると考えられる。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 薬王院の法話とムササビ観察を組み合わせるなどユニークなガイドプログラムを開発している。また、オリジナルの手拭いなどの物品販売、SNSの活用に対して積極的であり、優れた取組を展開していると評価できる。 物品販売について、専門家のアドバイスを受け、売上増につなげている。 自然情報や登山情報、プログラム情報を高い頻度で更新し、発信力の強化に努めた。SNSの閲覧数は約357万件、フォロワーも約1.1万人に増加している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 全国有数の利用者がみられる立地特性にあり、安全面やトイレ等の施設管理、多様な利用者のニーズに対応する必要がある中で、満足度が高い状態を維持しているのは評価できる。引き続き管理・運営両面で組織的な取組を進めてほしい。 登山者数が多い（＝東京都民や国民にとって関心の高い）山岳という特徴に合わせた独特の管理や方針策定に期待したい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都檜原都民の森

指 定 管 理 者：檜原村

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	A
事 業 効 果	A
評 定	A

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・建物や遊歩道などの維持管理は適切に行われており、利用者の安全性確保に向けた取組が実施されている。 ・野生シカからの植生保護のための柵を設置し、自然教室においても環境保全やシカの食害等について説明している。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・苔テラリウム作りやフクロウのランプシェード作り等、天候に左右されないプログラムを増やしている。とくに苔テラリウム作り教室は人気で、今まで応募のなかった来園者層の獲得につながっている。 (オフシーズンに係る取組として水準を上回ると評価) ・近隣地区の宿泊施設と連携したプログラムの実施回数を増やし、地域の付加価値の向上、相互の利用客の増加に努めている。 ・学校など団体を積極的に受け入れ、標本を使った専門性の高いレクチャーを行うなどして、檜原都民の森の魅力を伝えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の減少による土砂崩れや水害等にも細かい配慮を希望する。 ・アンケート回収数は増加したものの、回収率は0.4%と低率にとどまっている。回収率の向上のための方策を検討してほしい。 ・天候に左右されないイベントについては、頻度高く実施できるメニューも開発していただきたい。 ・各種施策は評価できるものも多いが、その情報が一般都民にまだ伝わっていない。インフルエンサーを仲介したマーケティングなど更なる広報戦略を期待したい。また、インバウンド利用を促す取組にも期待したい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都奥多摩都民の森

指 定 管 理 者：奥多摩町

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	B
事 業 効 果	A
評 定	B

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理は概ね適切に実施されており、ホームページに登山時の危険個所に関するハザードマップを掲載し、注意喚起を行うなど利用者の安全性確保に向けた取組が実施されている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 森をテーマに「歩く」、「触れる」、「育てる」といった視点で多彩なプログラムを積極的に実施している。 奥多摩駅までのマイクロバスによる送迎を行い、利用者の便宜を図っている。 正月行事や冬山登山など季節限定のイベントを実施し、オフシーズン(12月～2月)の利用者数が対前年度比154.4%と増加した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が大きいと思われるが、集客のための効果的な予算執行が望まれる。 ・季節の旬の食材を活用し、新たな客層のニーズに合ったメニューの開発を引き続き進めてほしい。 ・バーベキュー食材を自前で用意することは、施設利用の制限することになっていないだろうか。地元の食材をオーダーできれば、より多くの利用者がバーベキューを楽しみたいと思うであろうし、地元の業者の売り上げにもつながる。都民の森で食材をオーダーできる仕組みが導入できないか、検討してほしい。 ・特に平日の宿泊利用を促進するための情報発信や工夫をもっと凝らしていただきたい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都立奥多摩湖畔公園山のふるさと村

指 定 管 理 者：奥多摩町

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	B
事 業 効 果	B
評 定	B

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理は概ね適切に実施されている。 スタッフの多くが消防団経験者であり、訓練の実施、講習の受講を通じて、自然災害や事故に対し適切な対応が執れる体制を整えるなど、利用者の安全性確保に向けた取組が実施されている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 既存の教室やイベントに加え、インバウンド観光の受け入れも始めた。高い満足度を維持している。 シカ肉のジビエ料理教室、角を使った工作教室を行い、シカによる様々な課題と対応について普及啓発を行っている。 奥多摩駅との送迎バスの運行や、冬季限定ケビン棟宿泊者へ体験無料券を用意するなど、集客への工夫を行っている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 東京都に報告すべきことが、遅延することもあったようなので、迅速な対応を徹底する必要がある。 アンケート数は前年よりも増加し満足度も高いが、回収率は対入村者1.4%にとどまっている。回収率を高める仕組みを検討してほしい。 短時間の体験プログラムとケビン棟宿泊者では、滞在時間が違い評価の意味も異なる。満足度を総合的に見ることに加えて、それぞれについての満足度や要望を分析して利用者サービス向上のヒントにしてほしい。 オフシーズンに体験無料券を配布し、繁忙期以外の利用促進のためにケビン棟宿泊料金を半額にした。利用促進にはなっているが、利用料金収入の状況を踏まえて、今後の取扱いを検討してほしい。 資材置き場がケビン棟に移動する際の左側の良く見える場所にある。ケビン棟の宿泊利用者に目立たないよう、何らかの工夫ができないか、検討してほしい。

二次評価シート

環 境 局

施 設 名 称：東京都立多幸湾公園

指 定 管 理 者：神津島村

評 価 項 目	評 価
管 理 状 況	B
事 業 効 果	B
評 定	B

【評価の基準】

S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

B：管理運営が良好であった施設

C：管理運営に良好ではない点が認められた施設

特記事項	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理を概ね適切に行われている。 景観維持を意識した補修や植生管理を行うとともに、遊具の点検は専門機関に依頼して利用者の安全確保に向けた取組が実施されている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 自動翻訳機の活用や英語表記の充実、英語対応可能な職員の増員等によりインバウンド観光客のニーズに応えるよう努めている。 売店でのキャッシュレス対応や充電コーナーを設置する等、サービス向上を図った。 荒天時に隣村営施設を緊急避難施設として活用できるように調整したり、船の出航に合わせたバスのダイヤ調整を行ったり、繁忙期に夜間巡回バスを運行する等、村と連携して利用者の目線からの調整を行ったことは評価できる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 樹木点検も目視で行ったとされるが、高い樹木の場合、台帳管理をするとともに、樹木医の診断を一度行い安全性の確認をすべきではないか。 離島という制約はあるものの、島の有する自然や文化を活かして、更なる活性化に向け、魅力あるプログラムの開発や情報発信に努めていただきたい。 子どもたちがそのプログラムについて事前に調べたり、作文や絵に描いてもらう等の振り返りを可視化できれば、島民にとって公園がより身近な存在として認識してもらえと思うので、検討してほしい。 外の風景が十分に見ることができかつ冷房も入れることができる「タイニーハウス」のニーズも検討してみるのもいいのではないか。